

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）	施策の柱	学校教育
------	------------------------------	------	------

●目指す姿

- 子ども一人ひとりに応じた教育を受けることができ、自立し社会参加するための基盤となる力が育まれています。
- 子どもたちが「歴史・文化遺産」や「地域の教育力」など、本物との出会いや人との出会いを通じて、多様な見方や考え方が育まれています。また、学校や郷土への愛着や誇りが醸成されています。
- 子どもたちが元気で健やかに成長し、将来にわたって健康を維持する基礎が育まれています。
- 子どもたちが安全で快適に学習に取り組むことができる教育環境があります。

●事業の達成指標

項目名	前期計画策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末目標値	担当課	分析	今後の取組予定
(主) 将来の夢や目標があると答える児童生徒の割合	70.9% (H25)	69.2%	68.7%	66.9%	72.5%		UP	学校教育課	各小中学校において、児童生徒の「自己肯定感」を高める取組が大切にされている。また、キャリア教育が教育課程に位置付けられており、様々な職種の方の講話、企業や事務所の協力を得て行う職場体験等が実践されており、指標は微減で推移していたが、H30は上昇している。	今後も児童生徒が夢や目標をもって将来について考える場を設定し、さらなる向上を目指していく。
(主) 授業を良く理解できていると感じる児童生徒の割合	82.9% (H25)	84.4%	82.7%	80.7%	86.6%		UP	学校教育課	指標は微減で推移していたが、H30は上昇している。各小中学校において、新学習指導要領実施に向けて授業改善が行われている。その中で、授業においては特に、交流し合う活動を通じて、考える力を育むことが大切にされている。	今後も必然性がある課題の設定とともに見通しのもてる学習活動を仕組み、ねらいを明確にした的確な指導援助、思考が深まる交流等の工夫をしながら、児童生徒の学びが深まるようにしていく。
(客) 優秀児童生徒表彰者数(累計)	477人 (H25)	885人	1,188人	1,488人	1,658人		2,000人	学校教育課	部活動、スポーツ少年団、クラブチーム等での活動を各校で表彰しており、H30は170人の児童生徒が表彰された。文科系については、各種作品展やコンクールなどを児童生徒に紹介し、活躍の場を周知している。	部活動の練習日数や時間数が短くなる中、練習方法の工夫や改善をし、練習内容の質の向上を目指していく。また今後も児童生徒が関心をもって取り組めるコンクール等を周知していく。
(客) 全国統一基準の体力テストにおいて高評価を得た児童生徒の割合	小学生 28.3% 中学生 40.4% (H24, 25 の平均)	小学生 34.6% 中学生 39.6%	小学生 31.5% 中学生 47.4%	小学生 32.4% 中学生 50.8%	小学生 33.9% 中学生 60.7%		小学生 37.6% 中学生 45.8%	学校教育課	小学校における教科担任制の推進により、体育授業の質を向上させたり、小学校保健体育担当者会で中休みの運動内容等を共有するとともに特に優れた実践を行っている学校を紹介し合ったりし、指導の一層の充実を図っており、指標は小中ともに概ね上昇傾向にある。	小学校では、運動の機会を増やすとともに、教科担任制を活用して、指導内容をさらに充実させていく。中学校では、運動部活動の部活動指導員や社会人指導者派遣などを推進し、指導内容をさらに充実させていく。

●施策の方向性①学校教育の充実

事業番号	21101	事業名	学校経営振興事業	担当課	教育総務課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	「自主・自立的な学校運営」を推進するため、学校の特色・独自性のある事業、地域と連携した事業に必要な予算を交付する。また、児童生徒の主体的な活動・取り組みについても予算を交付する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 各学校より事業計画書を提出してもらい、それを元にヒアリングを行う。事業の優先性、内容等を考慮し、交付金額を決定している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 学校経営予算の重点を置く事業区分のうち、「地域と連携した事業」については、コミュニティスクール事業としての事業と区別がしづらくなってきている。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 学校経営予算の重点を置く事業についての区分方法等について検討していく必要がある。</p>								

事業番号	21102	事業名	学校ICT化推進事業	担当課	教育総務課	事業評価			あまり順調に進んでいない
事業概要	急速な情報通信技術の進展やグローバル化など、変化の激しい社会を自らの力で生き抜くことができる児童生徒を育成するため、情報教育や教科指導等における効果的なICT機器の活用を図る。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 黒板と教科書を使った従来の授業の中に、効果的にICT機器(電子黒板、デジタル教科書)を組み込んでいくことで、より「分かりやすい授業、学びやすい環境」づくりに寄与している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 ICT機器のうち、導入を検討しているタブレットについては、活用方法、仕様及び数量、使用ソフト、整備すべき通信環境等が定まっていない。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 引き続き、タブレットの先行導入校の検証結果を踏まえ、計画を示していく。 また、国の「教育振興基本計画(*)」や、新しく改訂された学習指導要領の「プログラミング教育の開始」を踏まえた「本市におけるICT機器を活用した教育のあるべき姿」を明確にし、その上でタブレットの導入について継続して検討する。</p> <p>(*)教育振興基本計画では、学習者用コンピュータを3クラスに1クラス分程度整備されるよう求めている。</p>								

事業番号	21104	事業名	英語教育推進事業	担当課	学校教育課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	現在の国際化時代を生きていくため、KETとのチームティーチングにより児童生徒がネイティブの英語に触れ、コミュニケーション能力や英語力を高められるように指導する。また、児童生徒が異文化に触れることを通して、ふるさとの文化のよさを再発見し、生徒の多様な見方や考え方を育む。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 12名のKETを派遣し、教師とKETがチームティーチングにより英語教育をサポートしている。 また、中学校では、KETがほぼ常駐できるように配置している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 小学校では巡回指導するKETが各校に滞在する時間が限られる等、KETと担任の空き時間が合わず打ち合わせの時間が不足することがあるため、効率的に授業準備を図る必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 引き続き、KETとの打ち合わせが十分できるよう担任は1週間前には指導案を用意してKETが授業準備できるようにするとともに、教育委員会が市内共通のワークシートや指導計画案を準備し、共有することで、限られた時間内でスムーズに打合せが行えるようにする。</p>								

事業番号	21105	事業名	外国人児童生徒支援事業	担当課	学校教育課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	支援が必要な外国人児童生徒に対し、初歩的・基礎的な日本語指導や生活指導を含む適応指導をFuturo教室で一定期間集中的に行うことで、在籍校での学校生活を円滑に進める。 Futuro教室に通室できない児童生徒に対しては、巡回指導員等が児童生徒の在籍する学校を訪問し、日本語指導を行う。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 Futuro教室指導員2名、巡回指導員2名、外国人子女生活相談員1名を配置している。 Futuro教室では、3ヶ月～6ヶ月で在籍校で学習できることを目標に指導している。 保護者の都合でFuturo教室に通室できない児童生徒に対しては、巡回指導員と外国人子女生活相談員が児童生徒が在籍する学校を各校の在籍人数に合わせて訪問し、指導している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 支援が必要な外国人児童生徒が増加傾向にある中、Futuro教室に通室できない児童生徒も増加しており、巡回指導で初歩的・基本的な日本語指導が十分に行えないことがある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 Futuro教室に通室する児童生徒が少数である場合、Futuro教室指導員2名のうち1名が、巡回指導できるように、令和元年度から雇用形態を変更した。</p>								

事業番号	21106	事業名	特別支援教育指導推進事業	担当課	学校教育課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	特別支援学級の児童生徒の生活及び学習の支援や、通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒への対応を充実し、教育的ニーズに応じた支援をすることで、児童生徒が自立し、社会参加するための基礎となる力を育てる。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】  学校の実態により、学習支援人づくり講師、特別支援人づくり講師、特別支援教育アシスタントを配置しており、平成30年度も、特別支援教育アシスタントの年間配置時間数を増やすことで、発達障がいのある児童生徒に対応する時間をさらに確保した。  また、有識者及び医師による巡回相談の実施により、教職員が障がいのある児童生徒への対応について学び、保護者や医療機関と連携を図りながら対応できるようになってきている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】  通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒が年々増加傾向にあることから、専門スタッフだけでなく、全教職員が発達障がいについての理解や対応の仕方を身に付ける必要性が、これまで以上に高まっている。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】  引き続き、巡回相談の機会を活用し、発達障がいに対する理解や対応の仕方について全教職員が学ぶ。  また、特別支援教育の専門的な知識の高い教職員等が、中学校区において困り感のある児童生徒への支援のあり方を検討する場へ出向き、様々なケースについて指導助言を行うことで、理解を深めていく。</p>								

事業番号	21108	事業名	不登校・不適応対策事業	担当課	学校教育課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	学校生活に適応するために集団生活や学習を中心とした生活を体験させることを通して、不登校児童生徒の学校復帰を支援する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】  平成30年度の適応指導教室に通室した児童生徒12名のうち、学校復帰等、改善がみられた児童生徒は8名であった。個々の実態を把握し、学校や家庭、教育センター、市の関係機関等と連携を図りながら、適応支援や学習支援等にあたっている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】  状況改善がみられなかった児童生徒、一旦は通室を希望したが心理的問題等で通室できない児童生徒、どこにも通えずひきこもり状態になっている児童生徒など、一人ひとりが異なる問題を抱えており、その子に合った支援が必要となる。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】  引き続き、保護者や学校、教育センター、市の関係機関等と情報共有を行い、状況改善や学校復帰に向けて、臨床心理士によるカウンセリングの実施や、医療機関との連携など、個人に応じた支援を行う。</p>								

事業番号	21109	事業名	理科教育推進事業	担当課	学校教育課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>科学への興味関心や確かな学力の定着を図り、児童の可能性を広げる。 各小学校に、理科授業の準備・片付け、学習支援、教材教具の工夫、理科室及び理科準備室の整備等を行う各務原サイエンスアシスタントを配置する。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 児童の理科への興味関心をさらに高めるため、市内全小学校にサイエンスアシスタントを配置し(各校1名)、理科授業の充実を図っている。また、大学教授等の専門家を講師に招き、市内小中学生を対象に、科学に関する体験活動を行う講座(各務野科学ラボ)を年8回開設している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 各務原サイエンスアシスタントについて、各小学校における理科専門の教員の配置や、管理職の異動に伴うサイエンスアシスタント配置事業の内容の理解等、学校の状況が毎年変わるため、その状況に応じて効果的に活用する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 引き続き、指導主事の学校訪問によって、各学校の活用状況を把握し、必要に応じて活用法の助言やサイエンスアシスタントと学校との調整役になり、活用につなげる。</p>								

事業番号	21110	事業名	教育センター事業	担当課	教育センター	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>児童生徒、保護者、学校のあらゆる悩みや相談にワンストップで対応できる相談機関と、教職員の資質向上や保護者・市民の学びを深める研修機関を集約した、「各務原市教育センターすてっぷ」を運営する。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 相談事業では、児童生徒・保護者・市民への周知と相談ニーズに対応した結果、相談件数の増加とともに継続相談ケースも増加した。相談内容としては、発達及び不登校の相談が多く、中には家庭内の問題や学校との関係の問題もあり、他機関との連携やケース会議への参加等ネットワークも大切にしながら進めている。また、個別検査ができる機関としても機能している。研修事業では、学校訪問による現場での研修、教育センター等での各種研修を実施し能力向上に寄与している。また、親子・保護者・市民向け講座については参加希望者も増えている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 相談事業では、児童生徒保護者の悩みや不安が多種多様であるため、それぞれのケースに応じた柔軟な対応が必要となる。研修事業では、現場の教職員が主体的に「学びたい」と思う研修を実施する必要がある。また、新学習指導要領の全面実施に向け、改訂された内容や今日的な教育課題に対する研修を実施する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 相談事業では、引き続き、必要に応じて相応しい専門家に繋いだり、相談の形態を工夫するなど、個のニーズに対応できるようにする。研修事業では、教職員講座受講者に、今後受講したい研修内容をアンケート調査し、数か月後にはその意見を反映した研修を開催する。また、学習指導要領の改訂に伴い、新たに教科に位置づいた外国語(英語)や“特別の教科 道徳”、主体的・対話的で深い学びの実現に向けたプログラミング教育に関する研修を新たに位置付ける。</p>								

●施策の方向性②地域資源の活用

事業番号	21201	事業名	各務野立志塾事業	担当課	学校教育課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	<p>未来を担う人材を育てることを目的に、各務原商工会議所や教育委員会などで構成される実行委員会により、美しく豊かな自然の白川郷でリーダーとしての資質を高めるプログラムを実施する。</p>						
現状・課題・対策	<p><b>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】</b>            各中学校の代表44名が参加し、トヨタ白川郷自然学校に宿泊し、産官学のトップリーダーの講話を受けながら、各務原市の未来について考え、市長に提案する。            また、市内の他の学校のリーダーとの交流を通して、人間関係形成能力や自発的・自律的に自らの行動を決断し、実行する能力を育成し、社会参画意識を高めている。</p> <p><b>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</b>            立志塾を通して、参加生徒の意識や行動が変化していく様子などを、現場の教職員が把握し、学校での指導に活かす必要がある。</p> <p><b>【対策…そのための具体的な行動内容】</b>            平成30年度に立ち上げた「各務野立志塾と学校をつなぐ会」により、引き続き、立志塾終了後に各学校の他の教職員にフィードバックすることで現場の指導への活用を図る。また、参加した生徒が各学校でどのような活動をしたのか共有する場を設けていく。</p>						

事業番号	21202	事業名	地域人材活用事業	担当課	学校教育課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	<p>教員経験者や地域の方々が講師となり、学力の基礎基本の定着を図るため、放課後に学習室を開設し、個に応じた指導を行う。</p>						
現状・課題・対策	<p><b>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】</b>            小学生放課後学習室(小学校3年生中心)を全17小学校、中学生放課後学習室「ららら学習室」を市内6会場で実施し、639名の児童生徒が参加した。            また、講師として、小学校放課後学習室は176名、中学生放課後学習室では30名の方に協力いただいた。</p> <p><b>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</b>            「ららら学習室」に参加する生徒数が増加していること、また、参加したくても会場までの距離がネックで参加できない生徒もいるため、すべての中学校区で支援できるようにしていく必要がある。そのための開催場所や地域講師の確保が課題である。また、小学校4年生から6年生の児童への支援の場がない。</p> <p><b>【対策…そのための具体的な行動内容】</b>            「ららら学習室」の開催場所を令和元年度からは市内8か所に拡充した。また、小学校4年生から6年生を対象とした学習室を設置し、従来からの学習室と合わせてららら学習室ホップ(主に小学校3年生)、ららら学習室ステップ(小学校4年生から6年生)、ららら学習室ジャンプ(中学生対象)と名称を改め、切れ目のない支援を実施している。</p>						

●施策の方向性③学校保健の充実と食育の推進

事業番号	21301	事業名	学校保健推進事業	担当課	学校教育課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	保健管理や保健教育の諸活動を通して、児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、児童生徒が健康に関する正しい知識を身に付け、健康な生活を送るための資質や能力を育成する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            各種健康診断等により児童生徒の疾病の予防と早期発見に努めている。また脂質検査結果によると肥満度の高い児童生徒の割合は横ばい状態が続いている。小児生活習慣病予防対策の一環で「夏休み健康教室」を開催し、保護者にも適度の運動と正しい食生活の必要性について指導している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            事業実施にあたり、保護者の同意が得られず、脂質検査(採血)が行えないケースがある。「子どもでも成人病に罹患する可能性があることと、その恐ろしさ」を理解できていない保護者がいることが課題である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            引き続き、授業参観や「保健だより」等で、子どもの成人病に関することを、より一層発信していくことで、保護者の意識を変えるようにする。また、将来、成人病にならないよう早急な改善が必要であることを訴え、脂質検査の必要性を理解してもらえようとする。</p>						

事業番号	21302	事業名	食育推進事業	担当課	学校教育課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	栄養バランスのとれた、安心・安全で美味しい給食を提供するとともに、食に関する指導を実施することにより、児童生徒の心身の健全な発達を促し、望ましい食習慣や食に関する正しい知識等を身に付け、実践できるようにする。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            偏った栄養摂取、朝食欠食等食生活の乱れによる肥満・痩身傾向が問題視される中、養護教諭等が中心となって朝食や生活リズムの大切さについて、個別に指導している。また給食試食会を通して保護者への啓発も行っている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            就寝時間の遅延化により朝起きられずに朝食を抜く児童生徒や、生活習慣として朝食を抜く保護者もいる。また、家族と一緒に食事する習慣が薄らいでいることで、食生活が乱れる児童生徒がいる。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            1. 学校給食等実態調査から、朝食の摂取状況や内容、供食状況などの実態を把握する。            2. 学校にて、栄養教諭や養護教諭を中心に、食育に係る理解を深めるため、給食試食会や、家庭教育学級、給食指導(栄養や、バランスの良い食事)、保健指導(規則正しい生活習慣・生活習慣病の予防・朝食について)などを行う。            3. 保健だよりや給食だよりなどの通信や個別指導などを通して、家庭との連携を図りながら朝食の大切さの指導に努める。</p>						

●施策の方向性④学校施設・設備の充実

事業番号	21401	事業名	学校施設設備修繕・維持管理事業	担当課	教育総務課	事業評価			概ね順調に進んでいる
事業概要	学校施設設備の安全性や修繕・維持管理の緊急性を考慮しながら、改修工事計画を策定し、計画に基づき適切な設備更新等を実施する。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 改修工事計画に基づき順次設備更新を行うと同時に、必要に応じて修繕を実施している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 校舎の躯体については耐震補強を行ったが、屋上防水や給水などの配管、体育設備(プール・屋内運動場・グラウンド)の老朽化が進んでおり、更新や修繕が必要な学校施設設備が多数見受けられる。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 設備更新時期をできるだけ先に延ばすため、引き続き設備の点検整備をしっかりと行い、必要に応じて修繕を実施し、延命化を図る。安全性・緊急性に鑑み、優先順位を考慮しながら、計画に基づきながらも、柔軟に修繕等を行っていく。</p>								

事業番号	21404	事業名	学校施設給水設備改修等整備事業	担当課	教育総務課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	給水・給湯管の老朽化による錆等の異物混入を未然に防ぐため、更新計画を策定し、老朽化した給水管の更新工事を行う。								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 更新計画に基づき、滞りなく老朽化した校舎給水管の更新を行えている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 児童生徒が使用しない夏休みに更新工事を必ず完了させる必要がある。また、配管だけでなく、受水槽や高架水槽も更新する必要があり、工期が夏休み期間中目一杯かかるため、綿密な工事計画を立てる必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 事前に施工業者と学校とともに打合せを行い、工期が遅れないように引き続き徹底していく。</p>								

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）	施策の柱	青少年教育
------	------------------------------	------	-------

●目指す姿

- 青少年が地域全体で温かく見守られ、健やかに成長しています。
- 家族の絆や地域の交流が深まり、子どもたちの社会性が育まれています。
- 心豊かでたくましい青少年を育成するため、様々な自然体験や社会体験ができる環境が整っています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
（主）地域ぐるみで、青少年の健全育成が行われていると感じる市民の割合	39.5% (H26)	-	39.3%	-	40.6%		UP	青少年教育課	「地域の子は地域で守り育てる」という趣旨をご理解いただきながら、各校区において計画にしたがって青少年育成活動が行われており、指標はほぼ横ばいで推移している。	各校区の活動において、小中学生の活躍の場を作っていただき、地域で子どもたちを見守り育てる機運を高めていく。
（主）地域の活動やボランティア活動に参加する青少年が多くなったと感じる市民の割合	13% (H26)	-	11.6%	-	10.9%		UP	青少年教育課	大人の地域行事への参加率の低下の傾向もみられ、青少年の活躍が十分に認知されていない部分があり、指標は微減傾向にある。	各校区推進委員会で、市民会議の目的・意義を丁寧に説明するとともに、活動の計画の際に、多くの子どもと大人が参加できるように工夫し参加を促していく。また、青少年の活躍を広報誌、HPなどでPRしていく。
（客）ふれコミ隊加入者率	6.5% H26末	8.1%	8.3%	8.2%	8.1%		7.8%	青少年教育課	年度によって多少の差は見られるが、各校区で特色ある活動が継続されており、隊員数も安定してきている。	ふれコミ隊の地域行事への参加を増やし、地域の一員としての責任感、隊員としての自覚と責任を促していく。

●施策の方向性①地域教育力の向上

事業番号	22101	事業名	地域教育力向上事業	担当課	青少年教育課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>将来を担う子ども達を地域で守り育てていく為、家庭・地域・学校及びPTAや子ども会等が連携を密にし、情報の共有をしていく。また、青少年とふれあう場や青少年が活躍する場を増やし、地域とのコミュニケーションを図るとともに青少年の健全育成を図る。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】                      青少年が地域全体で温かく見守られながら健やかに成長するように、青少年育成市民会議や子ども会を中心に、地域でのふれあい行事を推進している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      近年、ふれコミ隊活動は、地域の協力もあり充実した活動を展開することができている。一方で、地域の活動やボランティア活動に参加する青少年が多くなったと感じる市民の割合が伸びていない要因として、地域行事において、小中学生の参加や運営側の人数確保に苦慮している校区もみられ、おのずと大人と子どもが触れ合う機会が少なくなってきたことが考えられる。ふれコミ隊の地域行事への参加、市民会議を中心とした大人の行事への参加を促し、より大人と青少年が関わり、ふれあいを深めていく機会を増やしていかなければならない。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      今後も年度当初に開催される青少年育成市民会議の推進委員会において、市民会議の目的・意義を丁寧に説明するとともに、活動の手引きとなる「市民会議活動推進ガイド」をもとに、小中学生を巻き込んだ取り組みの実践例を参考にしながら、より多くの大人の方々にも参加を促していく。そのほか、ふれコミ隊としては、当日の運営ボランティアにとどまらず、事前の企画から参加する場を設けていくことで、大人と関わる機会を増やしていき、隊員としての自覚と責任を促し、地域の中での積極的な活動につなげていく。</p>								

●施策の方向性②情報モラルの向上

事業番号	22201	事業名	情報モラル向上事業	担当課	青少年教育課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>PTAや子育て広場と連携し、講演会などを通じて、青少年がインターネットなどを適切に利用することができるように情報モラルの向上に努めるとともに家庭でのルールづくりの重要性を広める。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】                      PTA・学校・警察等関係機関と連携を図りながら、情報モラルの向上に関する講演会等を開催している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      日々進展する情報社会の特性や、青少年が触れる実際の情報サービスを保護者自身が認識し、理解した上で家庭でのルールづくりを行う必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      インターネットの活用に関する実際の問題事例やその対策等を紹介した講演会等を開催する。                      また、「情報モラルの向上」のためには、「親子の会話」や「家庭の約束づくり」が重要であることについて、引き続き、PTA活動や子育て広場などを通して理解を深めていく。</p>								

●施策の方向性③家庭教育の充実

事業番号	22301	事業名	家庭教育充実事業	担当課	青少年教育課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	<p>家庭は基本的な生活習慣や社会的マナーなど「生きる力」を育む教育の出発点であることから、親が役割や義務を認識し、責任を果たすことが出来るように「子育て広場」を開設し、幼・保30学級、小17学級、中8学級の全55学級の支援をする。</p>						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】          幼保小中学校の子育て広場55学級で、栄養講話や子育てに関する講演会・親子で参加する講座等を中心に開催をしている。幼・保に臨床心理士等を派遣し、「お子さんの成長に合わせて、親子で育みたいこと」をテーマに講演会を実施した。また、普段共働きで学校での子育て広場に参加が難しい家庭でも取り組みやすい、在宅取り組み型の子育て広場の取り組みも広げた。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】          幼稚園・保育所(園)・小・中学校単位で開催しているが、共働き家庭の保護者も多いため、どの学級も参加者を集めることに苦労している。保護者が参加しやすい環境を作る工夫が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】          引き続き、各学級による工夫や、保護者から好評だった講座を各学級の代表者が集う場で紹介するなど実施に際してのアドバイスをすることで、より多くの方に参加いただけるような講座の開催を目指す。子育て広場が体験だけで終わらないよう、活動後に交流会の時間を設け、保護者同士のつながりをつくるきっかけとなるようにする。</p>						

●施策の方向性④体験学習の充実

事業番号	22401	事業名	少年自然の家改修等整備事業	担当課	少年自然の家	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	<p>少年自然の家の利用者が、安全かつ安心して様々な活動に取り組めるよう、施設設備の整備更新に取り組む。</p>						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】          少年自然の家は、青少年の健全育成を目的とした体験学習施設である。利用者が安心して活動に取り組んでもらうため、定期的に施設全体の点検をしているが、施設の老朽化が進み、取替時期が来ている機器設備が多数存在している状況である。また、バリアフリーの不備の解消や洋式トイレの設置数を増やすなど、時代に合った設備改修の対応も迫られている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】          施設の老朽化で、今後は大規模な設備更新工事が続くことになるが、多額の費用が伴うため、長期的な工事計画を立てる必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】          令和元年度に長寿命化計画(個別施設計画)を策定し、計画に基づいて必要な工事を行っていく。そして、工事中における活動の制約を最小限に抑えるため、団体受入れの調整や活動方法や場所の見直しの検討を進めていく。</p>						

事業番号	22402	事業名	体験学習推進事業	担当課	少年自然の家	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>家庭や学校では得がたい様々な自然体験、社会体験を通して豊かな人間性を養い、生きる力を育む。そのため、学校団体・少年団体等の利用団体には、利用者の実態及び研修のねらいに即した活動プログラムを提供し、活動を支援する。また、主催事業では直接体験の場を設定し、感動を生む事業、家族のきずなを深める事業を展開する。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            団体受け入れ事業では、適切な活動支援ができており、充実した体験学習が行われている。利用団体からのアンケート結果を見ると、本所の活動に対し高い評価を得ている。主催事業では、参加者にとってより魅力的な体験活動が提供できるよう、活動方法の工夫や、新しい活動の開発に努めている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            主催事業の中には参加者が募集定員に満たない事業もある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            各主催事業の活動内容、募集対象、実施時期、周知の仕方等を見直すとともに、必要に応じて年間の主催事業計画全体を見直し、主催事業の統廃合を行う。</p>								

事業番号	22403	事業名	青少年体験教育事業	担当課	青少年教育課	事業評価			順調に進んでいる
事業概要	<p>次代を担う青少年を海外に派遣し、英語力の向上を図るとともに、諸外国に対する理解と国際協調の精神を養成し、国際的視野と高い市民意識をもった青少年の育成を図る。</p>								
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】            セリトス市では、中学校体験入学や高校での交流、更にはホームステイを通じ、生の英語に触れながら、アメリカの文化や生活を体験した。また、本市の主要産業である航空機産業が盛んなワシントン州エバレット市を訪問し、総領事館や現地企業、ボーイング工場を見学するなど、子どもたちの夢や志を育みキャリアデザイン教育につながるような研修を行っている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】            2都市を訪問することにより、様々な貴重な体験をすることが出来たが、体験しただけで終わらせないことが課題である。事前研修で学習を十分に行い、なぜ訪問するのか、何を学んでもらいたいかを派遣生徒に伝えることが必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】            事前研修の中で訪問先についての学習や市内企業見学を通して、各務原市の産業と関連付けながら訪問先について学ぶ機会を作る。また、ホームステイ体験や現地生徒との交流においても、生徒自身が自分に合った目標を定め、活動を行うことで派遣生徒の目的意識の向上を図る。生徒たちが自らの興味・疑問について調べ、質問し、交流する時間を多く設けることを大切に、さらに充実した事前研修や現地での体験活動を行っていく。</p>								

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）	施策の柱	学びの機会
------	------------------------------	------	-------

●目指す姿

- 幅広い学びの機会が提供され、市民が心豊かな生活を送るとともに、学んだ成果が地域や社会で発揮されています。
- 市民が身近な場所で学習できる機会や施設があります。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
（主）生涯学習講座等の内容に満足した参加者の割合	69.7% (H25)	69.0%	69.5%	70.8%	88.2%		UP	いきいき 楽習課	受講者アンケート等を参考にしながら、時流にあった題材を取り上げて講座企画を行っており、受講者の満足度は高い。	新規講座の企画や役割を終えた講座の入替などに意欲的に取り組み、引き続き、満足感が得られる内容の講座を実施する。
（主）身近に学びの機会があると 感じる市民の割合	43.7% (H26)	-	48.2%	-	42.9%		UP	いきいき 楽習課	講座のウェブ申込など参加しやすい環境づくりに取り組んだが、加えて普段参加しない層へ情報を届ける必要がある。	年2回発行する「生涯学習情報誌」の継続的な改善や、見やすいウェブサイトとなるよう工夫を行い、更なる情報発信に努める。
（客）生涯学習講座参加者数 （年間）	7,669 人 H25実績	8,020人	7,831人	8,224人	7,958人		8,000人	いきいき 楽習課	市ウェブサイトで講座風景や参加者の声などを発信しPRIに努めたが、平成30年度開催講座の内容や定員設定により、目標を下回った。	引き続き、魅力的な講座を実施していくが、参加が多ければ良いというものでもない。今後も講座内容に合った定員設定を行うこととなる。
（客）クラブ・サークル等の 地域活動件数（年間）	-	325件	324件	366件	350件		300件	いきいき 楽習課	クラブ・サークルの活動情報を提供するなど、各団体の活性化を図っているが、高齢化などにより活動団体数の減少が見え始めている。	クラブ・サークルが行う地域活動を広く市民に知ってもらうために、その活動を写真サークルが取材し写真展を行う。

●施策の方向性①生涯学習の充実

事業番号	23101	事業名	生涯学習推進事業	担当課	いきいき楽習課・各ライフデザインセンター	事業評価		概ね順調に進んでいる
事業概要	生涯学習の更なる充実を図るため、クラブサークルを核に学びの成果を地域活動の中で活かせる仕組みづくりを行う。							
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状（R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】                      ライフデザインセンターや福祉センターなどを会場に、市内各所でさまざまな講座を開催している。また、講座申込みをウェブサイトからもできるようにするなど、利用者の利便性向上にも取り組んでいる。また、学びたい人(団体)に対し、市民講師やクラブサークルの活動を紹介し、マッチングを進めている。参加者の満足度は高く、参加者数は出前講座の参加者数も加えると増加している(H29:7,049人、H30:9,400人)のに対し、身近に学びの機会があると感じる市民の割合は減少している。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      「生涯学習情報かかみがはら(春・秋)」や「らららマガジン」、「出前講座メニュー表」の発行により学びの機会の情報提供をしているが、より多くの人に情報を提供し、講座が身近にあることを感じてもらうための工夫が必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      講座の紹介をしている「生涯学習情報かかみがはら」を多くの人が手に取って講座への興味を持ってもらうために、見やすく伝わりやすいように編集する。また、一体的な生涯学習を推進するために、各ライフデザインセンターとの情報共有や連絡調整などの「横の連携」を強化する。</p>							

●施策の方向性②社会教育環境の整備

事業番号	23201	事業名	文化会館施設整備事業	担当課	いきいき楽習課	事業評価		概ね順調に進んでいる
事業概要	市民の文化・芸術・生涯学習活動の拠点となる市民会館・文化ホール・中央ライフデザインセンターの施設整備の充実を図るため、改修工事を実施する。							
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状（R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】                      平成30年度から2か年にわたり、市民会館の空調設備や舞台照明設備の更新工事を実施するため、平成29年度に設計、平成30年度に契約を行い、着工した。                      (工事期間:平成30年12月28日～令和元年8月23日 市民会館の休館期間:平成31年3月～令和元年6月末まで)                      一方、昭和62年開館の文化ホールは、一部設備について改修を実施したのみで、ほとんどが改修未実施である。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      更新時期が到来しつつある文化ホールの設備(舞台吊物や照明等)改修や、市民から改修要望がある設備(トイレ)の改修の実施。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      文化ホールの設備更新を行うにあたり、今後の施設のあり方を検討した上で、整備方針を固めて、計画的に修繕を実施していく。</p>							

●施策の方向性③図書館サービスの充実

事業番号	23301	事業名	図書館改修等整備事業	担当課	中央図書館	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	利用者の方々が図書館を安全、安心して利用して頂くため、長寿命化計画に基づき、老朽化した施設・設備の改修を順次行う。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 老朽化した設備等について順次更新しており、H30年度は空調設備更新を予定どおり完了した。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 施設の老朽化により、自家発電設備や昇降設備など、今後は大規模な工事等が控えており、多額の費用が伴うため、長期的な工事計画を立てる必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 令和元年度に策定する長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、順次設備更新を行うと同時に、更新時期を適正に判断するため、設備の点検整備を着実にを行い、必要に応じて修繕を実施し設備の延命化を図る。</p>						

事業番号	23302	事業名	本に親しむ事業	担当課	中央図書館	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	市民の豊かな心、文化レベルの向上を目的に、「本」をテーマとした講座・イベントを実施することで図書館の魅力を発信し、利用者の拡大を図る。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 本に親しむ事業として、「童話教室」などの創作講座、「図書館探検」などの体験講座や「ジュニア司書養成講座」など多岐にわたる講座を行っている。また「わたしの1冊！気軽にトーク」(ビブリオバトル)や「岐阜弁講座・岐阜弁カルタ大会」などのイベントについても多くの参加者・観覧者があり、本に親しむきっかけとなった。 講座やイベントなどの受講者や参加者は多いが、利用者の拡大にはつながらない現状である。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 講座やイベント内容の見直しや新規講座・新規イベントの開催により図書館の魅力を発信し、新たな利用者の拡大を図る。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 新たな利用者の拡大を図りたい対象者及び年齢層へ向けた講座・イベントを開催する(現在開講している新規起業対象講座「ビジネス支援講座」等)。引き続き、広報・チラシ・HPなどをより活用することにより幅広い年齢層にPRする。</p>						

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）	施策の柱	芸術・文化・歴史
------	------------------------------	------	----------

●目指す姿

- 市民が芸術・文化を気軽に親しむことができる機会や、活動の成果を表現する場が充実しています。また、市民が地域の芸術・文化に誇りを感じています。
- 市の歴史・文化遺産が適切に継承され、人づくりや地域づくりなどに活かされています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
(主) 芸術や文化に親しむ機会が充実していると感じる市民の割合	37.3% (H26)	-	35.4%	-	32.3%		UP	いきいき 楽習課	昨今の状況を反映し、市民の関心が防災、環境、少子高齢化などに集まり、文化への関心が相対的に低くなっていることが割合の低下につながっていると思われる。	ワークショップを増やしたり、他団体との連携を図ったりするなど、文化や芸術に親しむ機会を幅広く設ける。
(客) 芸術・文化活動への参加団体数（年間）	-	7団体	7団体	7団体	7団体		5団体	いきいき 楽習課	市に登録のある団体であるが、実際には各種多様な団体が芸術・文化活動に携わっている。	後援を承認するなど、芸術・文化活動を行う団体の支援を行う。
(客) 歴史セミナー等受講者数（年間）	55人 H25末	86人	152人	156人	173人		150人	文化財課	数値が順調に増加し、目標値を上回っている一方、参加者の固定化・高齢化などの課題が残る。	セミナーのテーマ設定など、ターゲットとなる受講者のニーズに合った企画・運営を行っている。

●施策の方向性①芸術・文化活動の充実

事業番号	24101	事業名	芸術・文化活動充実事業	担当課	いきいき楽習課	事業評価	あまり順調に進んでいない
事業概要	芸術・文化の更なる充実を図るため、市民が気軽にクオリティの高い芸術・文化に触れ、参加できる機会、また主体的に芸術文化に関する活動に参加し、成果を発表できる環境づくりを行う。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状（(R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする）や数値、前年度比較等）、解決すべき事柄】 年間を通じて各務原市美術展や市所蔵絵画展、市内施設コンサートなどの各種事業を実施し、市民が芸術・文化に触れる機会を提供している。しかしながら、芸術や文化に親しむ機会が充実していると感じる市民の割合が下がっている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 新たな参加者を開拓するための実施内容の見直しや、開催している芸術・文化事業を市民に対して効果的にPRする方法を検討する必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 市民が親しみやすいテーマの設定や、ニーズに対応した公演など、芸術・文化に触れる機会を増やすよう努める他、ワークショップの開催や美術展のポスター原画を公募するなど、芸術・文化に関心を持ち積極的に関わっていただく機会も増やす。文化協会やその他の団体等との協働による事業展開も積極的に推進する。また、情報提供の手段としては、市広報紙や市ウェブサイトへの掲載、公共施設へのチラシ配布に加え、市情報メールやフリーペーパーなどを活用していく。</p>						

●施策の方向性②歴史・文化遺産の保護と利活用

事業番号	24201	事業名	遺跡発掘調査事業	担当課	文化財課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	文化財保護法、県文化財保護条例に基づき、犬山東町線バイパス予定地内の鶉沼古市場遺跡の発掘調査並びに古墳の保存、利活用を目的とした坊の塚古墳の発掘調査を実施する。調査の成果は広く市民に分かりやすく公開し、郷土の歴史文化に対する市民の誇りや愛着を醸成する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】                      鶉沼古市場遺跡の発掘調査は平成28年度で終了、現在は報告書刊行に向け出土資料の整理作業、編集作業を行っている。                      坊の塚古墳は5カ年計画の4年目が終了した。今年度は古墳前方部及び周壕の発掘調査を行い、より詳細な古墳の規模や形状の把握に努める。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      地域の住民、市民に対する遺跡や古墳等に関する啓発が十分伝わっているとはいえない状態である。また、遺跡等に関心を持つ市民はまだ限られており、地元への愛着や誇りの醸成にはまだ至っていない。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      発掘調査成果を公開する現地説明会の開催ほか、5カ年調査の終了後、調査報告書をまとめる。また、引き続き、出前講座等を通じて地域の歴史や文化の面白さ、大切さを伝え、地元に対する誇りや愛着を醸成する。</p>						

事業番号	24202	事業名	歴史遺産保護管理事業	担当課	文化財課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	炉畑遺跡公園(県指定)と天狗谷遺跡保存施設(市指定)は、文化財として未来へ保存継承していくべき歴史遺産である。これらは公共施設長寿命化計画に基づき安全性に配慮した改修を行う。 特に炉畑遺跡公園については、復元住居の状況を確認しながら、計画的に補修・葺き替え工事を実施する。 また、城山は名勝木曾川の拠点として景観に配慮しながら整備し、市民の憩いの場としての活用を検討する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】                      炉畑遺跡は、平成30年度に1号住居の屋根葺き替え工事を行ったが、夏季の台風により他の復元住居も損傷を受けている。また、昨年度に国の指定文化財となった「旧川上家別邸」も一部屋根の損傷により雨漏りが確認されているほか、鶉沼羽場町の「皆楽座」では北側壁面で損傷が確認されている。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】                      損傷のみられる文化財について、被害拡大を防止するため、損傷した箇所を早急かつ計画的に修繕していく必要がある。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】                      炉畑遺跡については、現状で最も損傷が大きい3号住居をはじめ、屋根材の状態を確認しながら計画的に葺き替えを行っていく。                      旧川上家別邸は、雨漏りによる建物内部の建材の劣化を防ぐため、所有者との協議のもと、早急に修繕を行う。                      皆楽座の壁面は、今年度予算の中で、文化財審議会の助言のもと、適切な修繕を実施する。</p>						

事業番号	24203	事業名	歴史文化遺産活用事業	担当課	文化財課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	市内の歴史文化遺産の見学や体験学習を通じて、郷土の歴史文化の理解を深めてもらうことで、生まれ育った地域に対する愛着や各務原市民としての誇りを醸成する。						
現状・課題・対策	<p><b>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】</b>  毎年企画展を開催し、そのテーマに関連した講座を開講している。また、学校からの講師派遣の依頼の増加を目指し、教員研修会に学芸員を派遣するなど、教育現場との連携を高めている。少しずつではあるが、事業目的である郷土愛の醸成が市民の中に形成されつつあると考えている。</p> <p><b>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</b>  歴史系の大規模な博物館の設置を望む声も寄せられているが、建設可能な場所の確保など難しい部分もある。また、市が所蔵する資料を展示できていないものもあり、各務原市への愛着を醸成する機会を逸している部分がある。</p> <p><b>【対策…そのための具体的な行動内容】</b>  平成30年度より、小規模な複数の既存施設を利用し、活発な博物館活動を行う「スマートミュージアム事業」を展開している。これにより、市民団体や学校からの出前授業・史跡見学の依頼に幅広く対応できるようになってきた。今後も所蔵資料を公開する機会を増やし、より一層、郷土への愛着や市民としての誇りを醸成していく。</p>						

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	心豊かで文化を育む人づくりのまち（教育・文化・スポーツ）	施策の柱	スポーツ
------	------------------------------	------	------

●目指す姿

- 生涯スポーツ普及のための機会が充実し、市民が日常的にスポーツに親しんでいます。
- 地域のスポーツ団体やボランティア等に支えられ、健康的で活力ある地域がつくられています。
- 市民の多様なニーズに応じたスポーツ施設が身近に整備されています。
- 「ホッケー王国かかみがはら」として知名度が高まっています。

●事業の達成指標

項目名	前期計画 策定時	H27	H28	H29	H30	R1	R1年度末 目標値	担当課	分析	今後の取組予定
（主）身近にスポーツに親しむ機会や環境があると感じる市民の割合	50.4% (H26)	-	50.6%	-	49.4%		UP	スポーツ課	各種スポーツイベントやスクール、全国・国際規模の大会の誘致・開催を行うとともに、市内の各スポーツ施設の整備を行いスポーツ機会の創出に取り組んでいるが、指標は伸び悩んでいる。	今後も継続して、各種スポーツイベントや施設整備を実施し、スポーツを行う機会の創出や場の確保を図っていく。
（主）日常的に運動を行っている市民の割合	43.7% (H26)	-	45.1%	-	44.7%		UP	スポーツ課	各種スポーツスクールや軽スポーツの普及、各種スポーツイベントを通じて、スポーツに親しみ日常的な運動を行うきっかけづくりに努めており、指標は横ばいとなっている。	今後も継続して、各種スポーツスクールやイベント等を実施し、日常的な運動の普及に努めていく。
（客）各種スポーツスクール参加者数（年間）	251人 H25実績	425人	384人	463人	492人		430人	スポーツ課	指標は概ね増加傾向にあり、H30はホッケー講習会への参加者が前年より増加したことにより、指標が伸びている。 東京オリンピックが近づきスポーツへの関心が高まってくると考えられるため、継続してスクールへの参加促進を図る必要がある。	オリンピックをスポーツを推進する好機と捉え、人気スポーツなど、参加者のニーズを把握し、スクールのメニューや種目の選定などに反映させていく。
（客）軽スポーツ大会参加者数（年間）	281人 H25実績	337人	316人	352人	348人		380人	スポーツ課	H30の参加者は前年とほぼ横ばいである。“交流会”は中学校体育館を会場とするため、広さの関係で増加は望めないが、総合体育館で年2回行う“大会”では、募集定員を増やし参加者増加を図る余地がある。	軽スポーツ大会の募集要項などを改善し、参加者の増加につなげていく。

●施策の方向性①スポーツ機会の創出

事業番号	25101	事業名	生涯スポーツ推進事業	担当課	スポーツ課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>スポーツに親しみ、楽しむことができるよう、ウォーキングやマラソンなど気軽に始められるスポーツや、スポーツを始めるきっかけとなる各種スポーツスクールの開催、そして誰もが気軽に楽しむことができる軽スポーツの普及に努める。</p>						
現状・課題・対策	<p><b>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】</b>                      様々な年齢層からスポーツに関する多種多様なニーズが生まれてきている中、気軽に参加できるスポーツイベントは好評を得ている。イベント等で実施したアンケートでは「健康づくりが中心の講座」や「中高年のスポーツ」と答えた割合が多く、誰もが参加できる生涯スポーツに関するニーズが高い。                      また、世界を舞台とした日本人選手の活躍の影響を受けて、新しくスポーツに取り組む人も増加している。平成30年度は軽スポーツ大会と交流会を計6回実施したが、概ね定員数以上の参加があった。スポーツスクールにおいては14種目行い、合計273名の参加があった。</p> <p><b>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</b>                      スポーツスクールにおいて、定員上限に達する教室がある一方、一部定員割れの教室もみられる。                      各種スポーツイベントにおいては、認知度をさらに高め、幅広い市民の参加に繋げていく必要がある。</p> <p><b>【対策…そのための具体的な行動内容】</b>                      今後も、開催時期や種目、定員などの内容を精査し、参加者増加を図る。また、イベント等での参加者アンケートを分析し、参加者により喜んでもらえる内容とする。</p>						

●施策の方向性②地域スポーツ活動への支援

事業番号	25201	事業名	地域スポーツ活動支援事業	担当課	スポーツ課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	<p>体育協会をはじめとする競技団体やスポーツ少年団、地域の体育振興会などが行っている活動を支援する。</p>						
現状・課題・対策	<p><b>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】</b>                      各種団体において、多くの事業が開催されている。一方、指導者の高齢化や人材不足が見受けられる。</p> <p><b>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】</b>                      市内のスポーツ活動が一層活性化するよう、各種団体の橋渡しとして、市が主導的に支援していく必要がある。                      また、指導者の高齢化や人材不足を解消していく必要がある。</p> <p><b>【対策…そのための具体的な行動内容】</b>                      各種団体の連携により事業をより効果的に実施できるよう、情報共有支援を行っていく。                      また、各団体による指導者講習会において、次世代指導者となり得る受講者を増加させることで裾野を広げ、指導者の高齢化や人材不足といった課題を解消していくよう働きかける。</p>						

●施策の方向性③スポーツ施設の充実

事業番号	25301	事業名	スポーツ施設改修等 整備事業	担当課	スポーツ課	事業評価	順調に進んでいる
事業概要	利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、また施設の延命化のための整備を行い、安心して利用していただける施設に改修する。あわせてスポーツ備品を計画的に更新する。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 各種計画に基づいて、整備、改修及びスポーツ備品の更新を行っている。平成30年度には、総合運動公園をはじめ、市民プール、総合体育館の改修など施設の機能維持及び延命化の整備を行った。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 スポーツ施設そのものの整備に加え、更衣室やトイレの環境など、周辺施設についても、適切な整備が求められている。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 市民の多様なニーズや、各スポーツ関係団体との意見や助言に応じたスポーツ施設の整備を行い、引き続き安全かつ快適にスポーツを行うことができる環境づくりに努める。</p>						

●施策の方向性④ホッケーの推進

事業番号	25401	事業名	ホッケー推進事業	担当課	スポーツ課	事業評価	概ね順調に進んでいる
事業概要	「ホッケー王国かかみがはら」として本市のシンボルスポーツであるホッケーを通じた交流の促進、そして岐阜県グリーンスタジアムの積極的な活用(国際大会・国内大会・合宿誘致)を図る。						
現状・課題・対策	<p>【事業の現状・問題…現状((R1.6月末時点の状況が記載できる場合は直近とする)や数値、前年度比較等)、解決すべき事柄】 市が主催している小学生を対象とした「ホッケー講習会」の受講者を、スポーツ少年団への加入には繋がられているが、中学校部活動への入部には繋がっていない。 一方、体育協会の協力を得て、社会人指導者を派遣し、中学校部活動での競技技術指導の機会が創出できた。 また、2020年東京オリンピック、パラリンピックに向け、さらに交流を促進するために国際大会などを誘致していく。なお、平成30年度は本市において全国高等学校ホッケー選手権大会が開催された。</p> <p>【課題…問題を解決するためにどのようなことが必要なのか】 ホッケーの競技人口の拡大を図ることにより、競技レベルの向上に繋げ、機運を高めることが必要である。</p> <p>【対策…そのための具体的な行動内容】 引き続き、「ホッケー王国かかみがはら」として、ホッケーがその他の競技スポーツを牽引できるよう、世界と戦えるトップレベルの選手の応援や、岐阜県グリーンスタジアムで行われる全国・国際大会のPR、及び、オリンピックによる講演会や指導等を通じ、競技人口の拡大を目指すとともに、競技レベルの向上に繋がる支援に取り組んでいく。</p>						